

校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標

「夢をいただき、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成31年3月15日 No.42

平成30年度 卒業証書授与式 (3月14日(木))

ホームページ版は一部内容が異なります。

3月14日(木)、平成30年度卒業証書授与式を行いました。能代市教育委員会 学校教育課長様をはじめ11名のご来賓、地域の皆様、在校生の保護者の皆様、多くの方々から、卒業生の門出を祝福していただきました。

卒業証書授与式では、3名の卒業生に卒業証書を渡しました。

3名とも、立派な態度で証書を手にし、「ありがとうございました。」と大きな声で返事をしてくれました。

証書を手にした卒業生は、お家の方へ花を渡し、これまでの感謝の言葉を伝えました。その後で、保護者の方からお子さんへのメッセージを伝えました。壇上で聞いていたのですが、とても感動する場面でした。

3名という少人数の卒業証書授与式ですので、一人一人を大切に、一時一時を大切に行うことを心がけて、全校で準備してきました。この子どもたちとお家の人との心の交流を見ることができて、本当によかったと思いました。【立派な態度の卒業生】



能代市教育委員会様、PTA会長様からご挨拶をいただいた後、卒業生と在校生とで「卒業の喜び ～歌とよびかけ～」を行いました。

これまでの練習の成果が生かされた素晴らしい「卒業の喜び」であったと思います。在校生は、卒業生に感謝の気持ちを伝えるために、大きな声ではきはきと言葉を話しておりました。また、在校生の歌「大空がむかえる朝」でも「おめでとう、さようなら」の気持ちがこもっておりました。聞いていて胸が熱くなりました。

卒業生の呼びかけでは、1年生から5年生までの思い出、6年生になってからの活動の様子を発表しました。聞いていると、その日の子どもたちの様子を思い描くことができました。



【卒業生からおうちの方へ】

【真剣な表情で式に参加する子どもたち。在校生も立派です。】

全力で取り組んだ一つ一つの活動が、わたしたちの大切な宝物です。
朴瀬小でみんなと過ごした思い出の日々、ずっと忘れません。

卒業生の台詞です。この台詞に引き続き、「旅立ちの日に」を3名で歌いました。3名だけの歌であっても、大きな声で心を込めて、最後まで歌い終ることができました。後

輩の子どもたちの心に届き、涙を流す在校生もいました。素晴らしい歌でした。

最後に、全校で「きみに会えて」を歌いました。

在校生と卒業生が掛け合いになって歌い、心の交流がありました。22名の全校児童数ですが、体育館に響く声は、大人数の学校と同等もしくはそれ以上のものとして感じました。全校児童一人一人が、別れの時を大切にしたい、素晴らしい卒業証書授与式になったと思います。卒業生の皆さん、保護者の皆さん、本当におめでとうございます。



【「卒業の喜び」 全校で心を込めて、発表しました】

エール、見送りで在校生が頑張ってくれました。

卒業生の皆さんが記念撮影を終え、いよいよ学校にお別れを告げる頃、在校生全員が集合し、卒業生へエールを送ってくれました。

在校生全員が心をつなげて、頑張ってくれました。

その後、アーチをつくり、卒業生を見送りました。

在校生の顔を見たら、涙、涙、涙・・・

「校長先生、とても寂しいです」と話してくれた、低学年の子どももいました。

2年間、全校のリーダーで頑張った3名の卒業生・・・みんなに慕われていたんだなと改めて思いました。

さあ、これからは5年生が最上級生です。新しい朴瀬小学校のスタートです。在校生の頑張りの姿に、これからの朴瀬小学校がさらに発展していくことを感じました。



【教室に戻り、学級写真を撮影】



【在校生からのエール】



【花のアーチをくぐって】

式辞の中で、卒業生に贈った言葉です。

私が、卒業証書授与式で卒業生へ贈った二つの言葉を紹介します。

一つ目は、アリストテレスの「人は、繰り返すことの集大成である。だから優秀さとは、行為ではなく習慣なのだ。」です。中学校でも、中学生としてのよい習慣を身に付けてほしいと思います。(3名の皆さんなら必ずできます！)

もう一つは、マーク・トゥエインの「自分を元気づける一番の方法は、誰か他の人を元気づけることだ」です。中学生になって元気がなくなるような出来事があっても、他の人のことを思いやり、乗り切っていってほしいと思っています。

3名の卒業生の中学校での活躍を期待しています。